

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	05 05 05	中期総合計画主要施策番号	1-04,2-02	担当課	部・課	環境部自然保護課	
事業名	民間との協働による山岳環境保全事業				内 線	2773	
					E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H17 ~	根拠法令等	自然公園法、民間との協働による山岳環境保全事業実施要綱				
実施方法	補助（山小屋関係者、市町村）					国庫・県単	県単独事業
事業の概要等	目的（必要性）	・山岳関係者等が互いに連携して、管理者が不明確な登山道の維持・補修等の山岳環境保全に取り組んでいく体制を確立する。 ・民間との協働による自然公園内の山岳環境の保全や登山者の安全・快適な利用を図る。					
	対 象	・管理者が不明確な登山道 ・自然公園内の管理者が明確でかつ緊急性の高い山岳環境保全事業					
	目指すべき姿	・県内自然公園内における管理者不明確な登山道補修の仕組み・実施団体等の体制づくりを目指す。 ・民間との協働による植生保全施設整備や登山道の整備を行うことにより、山岳環境の保全や登山者の安全・快適な利用を目指す。					
	事業内容	・登山道利用者等からの協力金を活用して、山小屋関係者が行う管理者不明確な登山道の日常的な維持補修の取組に対する支援（補助率【県】1/2以内） ・民間からの寄付金を活用して、市町村が行う登山道整備、植生保護柵などの山岳環境保全の取組に対する支援（補助率【県】10/10）					
事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 補助金：10,846千円
	最終予算額 (A)		千円	14,000	10,846	8,000	
	決 算 額 (B)		千円	10,692	10,846		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	0	0	0	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.30	0.30	0.30	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	13,187	13,323	10,477	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 登山道整備・山小屋団体へ支援を行った。 山岳環境保全事業：アサヒビール㈱、イオン㈱からの寄付金を活用し、植生保護柵やトイレ等への支援を行った。 (効果指数 算出式) 概算事業費 / 支援団体件数
	事業実施地域数(活)		地区	11	14	11	
	支援団体件数(活)		件	9	13	6	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 支援団体件数		千円/件	1,465	1,025	1,746	
事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分 b 期待どおり
	・山岳関係者等が互いに連携して、管理者が不明確な登山道の維持・補修等の山岳環境保全に取り組む体制が確立される。 ・民間との協働による植生保全施設などの山岳環境保全や安全で快適な登山道の整備が進む。			・管理者が不明確な登山道の整備に取り組む団体が累計で11地域11団体となり、継続的な取組みが進められた。 ・民間との協働による山岳環境保全事業が計画的に進んだ。			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・山岳県長野として、管理者不明確な登山道であっても、最低限の維持管理の取組の支援は必要である。 ・各地域で山小屋関係者の取組が定着し、事業目的の達成を確認するまで、県が関与する必要がある。 ・事業の効率性を高めるために、登山者のみならず一般企業等に対して、多くの協力金を得るための広報活動の検討を進める。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)		・民間企業からの協力金については、H21途中からアサヒビール㈱の寄付金を活用することができるようになったが、これも無期限ではないため、今後も続くであろう登山道整備のニーズに継続的に応えられるよう、他の企業等からの協力も得よう努める。				
	特記事項						